

教科・科目	保健体育・保健	単位数	1 単位	学年・学級	2年必修
使用教科書	『現代高等学校保健体育』（大修館）		副教材	『現代高等学校保健体育ノート』（大修館） 『図説現代高等保健』（大修館）	

学校教育目標		郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を　持ち続けよう						
育成を目指す資質・能力		傾聴力		協働力	○	議論する力	○	
		自省力	◎	理解力	○	批判力	○	
		自己実現力	○	表現力	○	情報活用力	◎	
学習の到達目標		①我が国の疾病構造や社会の変化と対応させて、個人や社会生活における健康・安全についての知識・理解を深める。 ②我が国の健康課題に対しヘルスプロモーションの考え方を生かし、適切な思考・判断ができる。 ③個人や社会生活における健康・安全についての関心を持ち、意欲的に取り組む態度を身に付ける。						
評価の観点	①　知識・技能		②　思考・判断・表現		③　主体的に学習に取り組む態度			
A 活用できる	生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する自他や社会の現状と課題を理解し、解決を目指した活動を実践している。		様々な情報から自他や社会の課題を発見し、既習内容と関連付けながら解決方法を考え、適切な方法を選択し、説明することができる。		現在及び将来の生活について関心を持ち、健康に関する課題に対し、主体的に学びを深めている。			
B わかる・できる	生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する自他や社会の現状と課題を理解することができる。		様々な情報から課題を発見し、既習内容と関連付けながら解決方法を考え、適切な方法を選択し、説明することができる。		現在及び将来の生活について関心を持ち、健康に関する課題に対し、学びを深めている。			
C 努力を要する	生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する自他や社会の現状と課題を理解することに努力を要する。		様々な情報から課題を発見し、その解決方法を考え、説明することに努力を要する。		現在及び将来の生活について関心を持ち、健康に関する課題に対し、学びを深めることに努力を要する。			
具体的な改善方法	・理解できなかったことは、その日のうちに解決する。（復習） ・話していることなどメモを積極的に行う		・自分の考えやその過程を丁寧に記述する。 ・発表やグループでの話し合いなどで、自分の考えを表現する		・あきらめず粘り強く取り組む ・ワークシートを必ず提出する			
評価基準 (各10段階)	A	10	～	8	A	10	～	8
	B	7	～	3	B	7	～	3
	C	2	～	1	C	2	～	1
	評価の方法 ・単元毎の小テスト ・ワークシート ・発表		評価の方法 ・ワークシート（評価問題） ・発表		評価の方法 ・ワークシート ・授業の様子 ・振り返り（アンケート） ・発表			

【学習計画】

月	単元	学習の目標	評価の観点			評価の方法	自己評価	実際評価
			①	②	③			
4	ガイダンス	1年間の学習内容、シラバスの活用方法について理解する。❧前期の目標						
	ライフステージと健康	・心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を整理できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解できる。	○	○				
	思春期と健康	・自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であることを理解できる。 ・思春期における健康課題を発見、整理し、解決方法を道筋を立て説明できる。	○	○				
5	性意識と性行動の選択	・性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解できる。 ・性意識の男女差について理解し、例を挙げて説明できる。	○		○			
6	妊娠・出産と健康	・妊娠、出産期の健康課題を理解することができる。	○			行動観察 ワークシート ポスター		

		・妊娠・出産期の母子保健サービスについて理解し、活用法を整理することができる。	○	○	ナソヘド		
7	避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響を理解できる。	○				
8	結婚生活と健康	・さまざまな避妊法について整理、理解し、説明できる。		○	○		
		・健康な結婚生活を営むために必要なことを理解できる。	○				
9	中高年期と健康	・結婚生活に伴う健康課題や生活の質向上のための保健、医療サービスの活用法を整理できる。		○	○		
		・加齢における心身の変化について理解し、中高年期を健やかに過ごすために必要なことを整理し説明できる。	○		○		
		・中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人や社会的対策を評価できる。					
		📌振り返り					
		📌後期の目標					
10	保健サービスとその活用	・人々の健康を守るための保健、医療制度について理解することができる。	○				
		・医療の供給、医療費の保障など保険、医療サービスの提供について実生活と結びつき整理し、説明できる。		○	○		
	医療サービスとその活用	・医療保険のしくみを理解し、適切に活用していくことが必要なことを理解しまとめることができる。		○	○		
		・地域の保健所や保健センター、病院や診療所などの適切な活用法を理解し、それらを通して健康上の課題を把握することの重要性を理解できる。	○		○		
	医療品の制度とその活用	・医薬品にはさまざまな種類があること、承認制度により安全性が審査されていることや、販売に規制があることを理解し、利用の仕方を整理する。	○	○			
		・医薬品の特性を理解し、正しく使うことが必要なことについて理解できる。	○		○		
	さまざまな保健活動や社会的対策	・国際、民間機関などの保健活動の違いを理解し、関連した情報を自らの生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。		○	○		
		・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	○				
11	大気汚染と健康	・過去の公害などの事例を通して整理し、疾病のリスクを軽減するための環境汚染の防止策や改善の方法に応用できる。		○	○		
	水質汚濁、土壌汚染と健康	・大気汚染、水質汚濁・土壌汚染の原因と健康への影響について、説明できる。	○		○		
12	環境と健康に関わる対策	・汚染物質の大量発生を抑制したり、発生した汚染物質を処理することが重要であることについて理解できる。	○				
		・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、対策が講じられていることについて理解することができる。	○				
	ゴミの処理と上下水道の整備	・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動は、環境と健康を守るために行われていることを理解できる。	○		○		
1	食品の安全性	・安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことであり、安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できる。	○				
	食品衛生に関わる活動	・自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。		○	○		
		・食品の安全性の確保は、食品衛生法などに基づいて行われており、各段階で適切な管理が重要であることを理解できる。	○		○		
2	働くことと健康	・労働災害は作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことや、防止のためには健康管理と安全管理が必要なことについて理解し整理できる。	○				
	労働災害と健康	・労働災害防止のための社会的対策を整理することができる。		○	○		
3	健康的な職業生活	・健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身の両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できる。	○				
		・積極的に余暇を活用するなどして健康の保持増進を図ることが重要であることを理解し、実生活をもとに整理できる。		○	○		
	健康に関する環境づくりと社会参画	・ヘルスプロモーションについての考え方を理解し、分析、評価し計画を立てることができる。	○	○	○		
		・健康を支える適切な環境作りに積極的に参加することが必要であり、そのことが自分を含め世界の人々の健康の保持増進に繋がることを理解する。	○				

📌最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解		② 思考・判断・表現		③ 主体的に学習に取り組む態度	